

ホシハジロ（カモ科） 全長 45 センチ

冬期間に飛来する渡り鳥ですが、市内の沼は全て結氷し野鳥の姿は見られません。雄物川で僅かに観察される程度である。そこで県内の漁港を巡り、冬鳥のカモ類を探してみることにした。

冬の日本海は波が高く、どこの砂浜にもカモメやカラスも見当たりません。やはり防波堤で囲まれている漁港が居場所のようだ。カモたちの待避所であり休憩地なのでしょう。

象潟漁港では強風を避けるように、コンクリートの岸辺にマガモが身を寄せていた。波の静かな港の真ん中に、20羽のホシハジロが同じ方向で浮かんでいる。何とも穏やかな眺めである。



ゆったりとした動きで、港の中をお散歩中？

漁を終えた船が港に戻り、群れに近づいてきた。ホシハジロはその進路を譲り、飛び去ることはありません。船には警戒心も無く、慣れているのでしょう。

オスは頭が茶色で体は白く目立ちます。メスは地味な存在です。メスを取り囲むようにオスが集まってきた。



オス、頭が茶褐色で背中中は白。



オスとメス

しかし、オス同士が争うような気配もなくみんな仲良く見える。

3月に入ると繁殖地に向って一斉に飛び立ってしまいます。ホシハジロとの付き合いもあと僅かとなりました。



メスがゆったりと近づいてきた。



ここまでアップすると、鼻孔までよく分かる。